

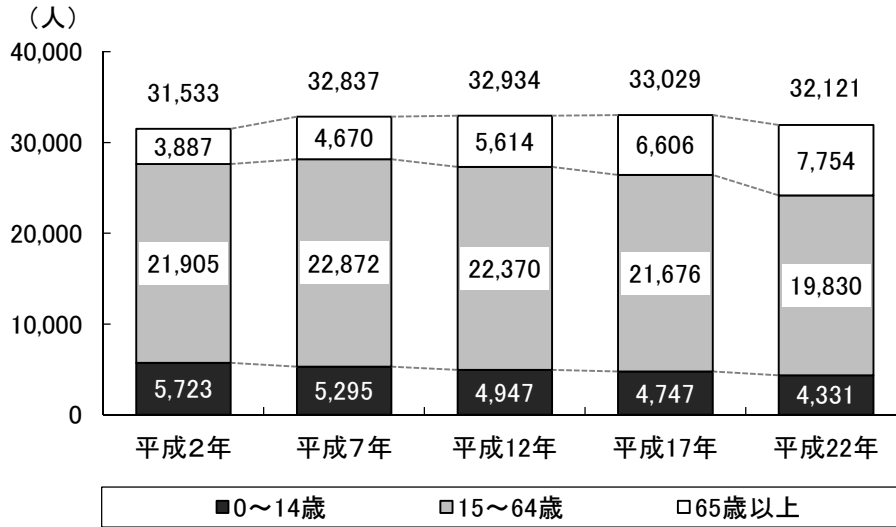
第3章 田原本町を取巻く状況

1. 人口動態

(1) 年齢3区分人口の推移

総人口は、平成2年から平成17年にかけて増加傾向で推移していますが、平成17年から平成22年にかけて減少に転じています。

■ 年齢3区分人口の推移

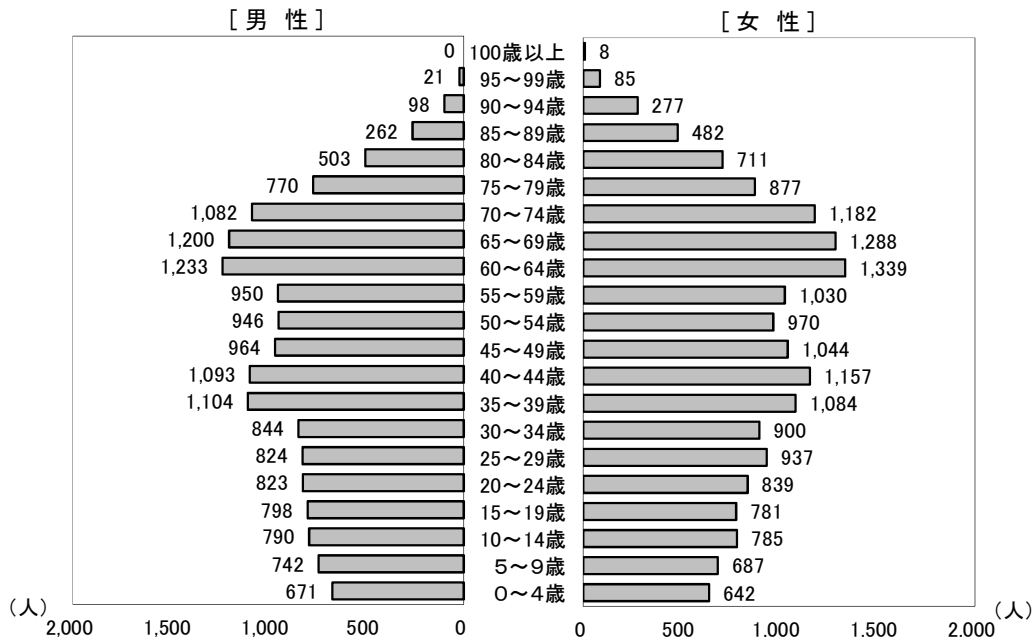


※年齢不詳を含む。
(資料:国勢調査)

(2) 男女別年齢別の人口構成

男女別年齢別の人口構成（人口ピラミッド）をみると、男女ともに第1次ベビーブーム及び第2次ベビーブームにおける世代が特に多くなっています。

■ 男女別年齢別の人口構成

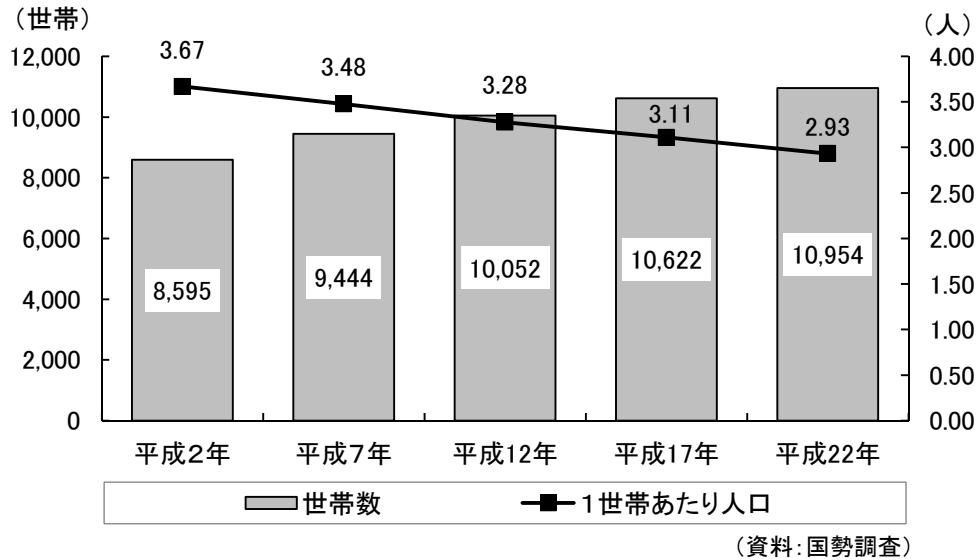


(資料:住民基本台帳<平成26年3月31日現在>)

(3) 世帯数・1世帯あたり人口の推移

世帯数・1世帯あたり人口は、世帯数は増加傾向で推移している一方、1世帯あたり人口は減少傾向で推移しており、単身世帯や夫婦のみの世帯等の増加がうかがえます。

■世帯数・1世帯あたり人口の推移

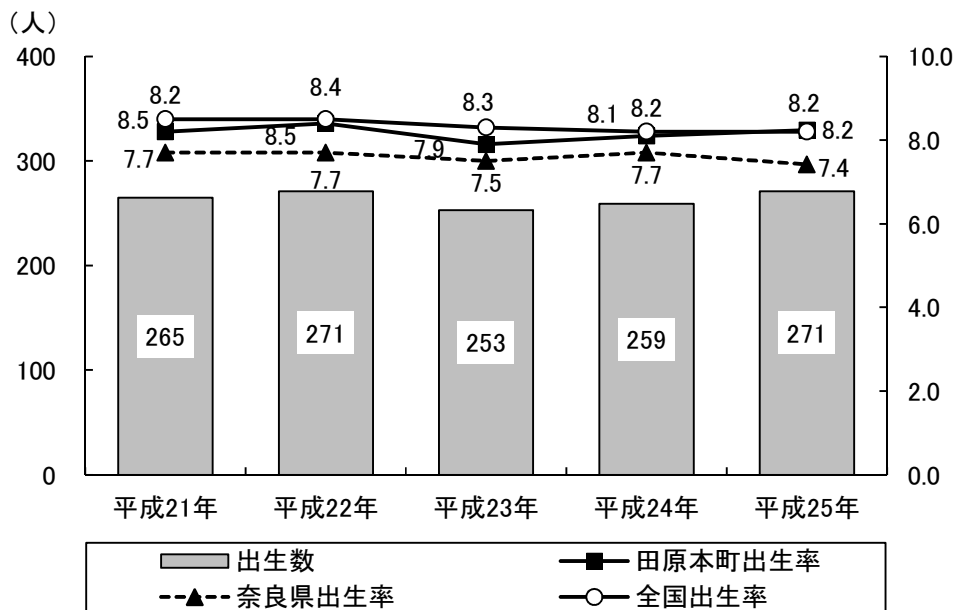


(4) 出生数・出生率の推移

出生数・出生率※(人口千人対)は、増減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移しています。

出生率については、平成21年から平成25年にかけて、奈良県を上回る水準で推移しています。

■出生数・出生率(人口千人対)の推移



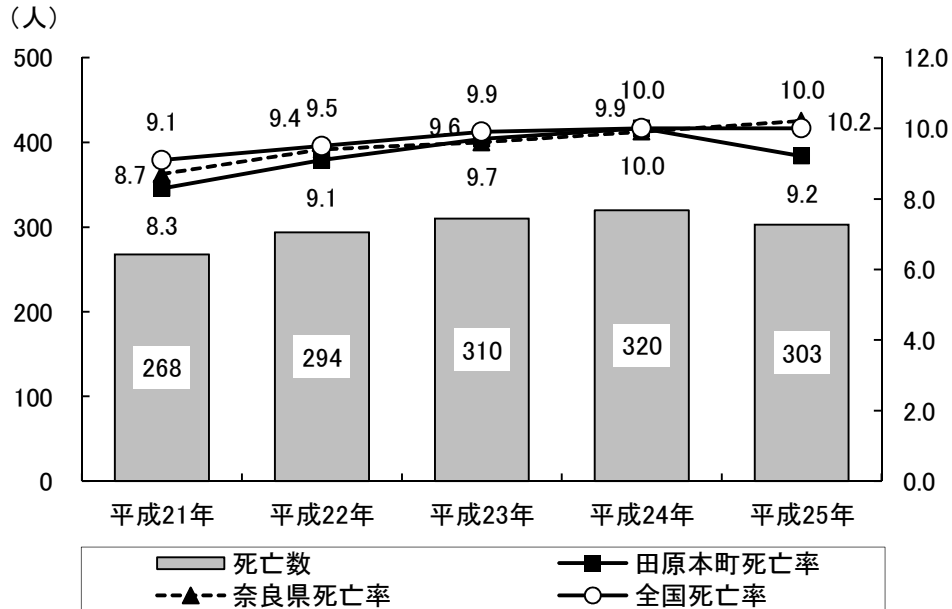
※出生率とは、一定期間(年間)の出生数の人口に対する割合。

(資料: 人口動態統計)

(5) 死亡数・死亡率の推移

死亡数・死亡率※（人口千人対）は平成21年から平成24年にかけて増加傾向で推移しています。平成25年の死亡率については、奈良県・全国と比べて低くなっています。

■死亡数・死亡率(人口千人対)の推移



※死亡率とは、一定期間（年間）の死亡数の人口に対する割合。（資料:人口動態統計）

(6) 死因別死亡者割合の状況

平成25年の死因別の死亡割合をみると、田原本町、奈良県、全国ともに悪性新生物、心疾患の順で高くなっています。次いで、田原本町では肺炎、脳血管疾患、奈良県・全国では肺炎が高くなっています。

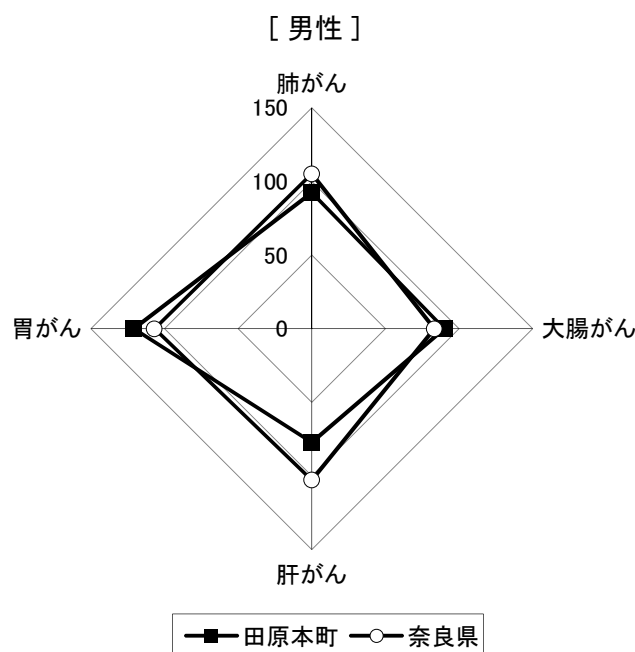
■死因別死亡者割合

	平成25年					
	田原本町		奈良県		全国	
	人	%	人	%	人	%
悪性新生物	90	29.7	4,162	29.7	364,872	28.8
心疾患	58	19.1	2,557	18.2	196,723	15.5
肺炎	26	8.6	1,396	10.0	122,969	9.7
脳血管疾患	26	8.6	1,191	8.5	118,347	9.3
老衰	17	5.6	689	4.9	69,720	5.5
自殺	6	2.0	252	1.8	26,063	2.1
不慮の事故	4	1.3	324	2.3	39,574	3.1
腎不全	4	1.3	253	1.8	25,101	2.0
糖尿病	1	0.3	134	1.0	13,812	1.1
肝疾患	0	0.0	139	1.0	15,930	1.3
その他	71	23.4	2,932	20.9	275,325	21.7
合計	303	100.0	14,029	100.0	1,268,436	100.0

(資料:人口動態統計)

(7) 標準化死亡比の状況

■ 悪性新生物(がん)標準化死亡比(平成 20 年～24 年)

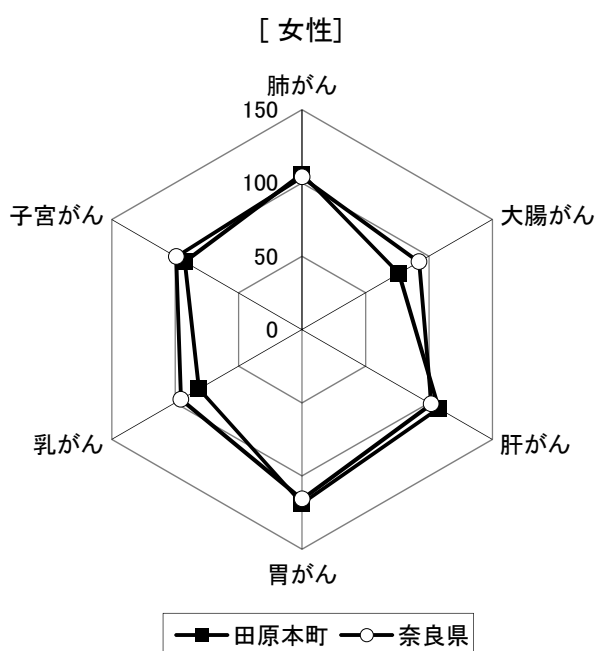


(資料: 奈良県健康づくり推進課)

男性の悪性新生物(がん)の部位別標準化死亡比*は、「胃がん」が全国標準値を上回っています。

また、奈良県と比較して「大腸がん」「胃がん」が上回っています。

	田原本町	奈良県
肺がん	92.4	105.2
大腸がん	89.9	83.3
肝がん	77.1	102.7
胃がん	120.8	106.8



(資料: 奈良県健康づくり推進課)

女性の悪性新生物(がん)の部位別標準化死亡比は、「肺がん」「肝がん」「胃がん」が、全国標準値を上回っています。

また、奈良県と比較して「肺がん」「肝がん」「胃がん」が上回っています。

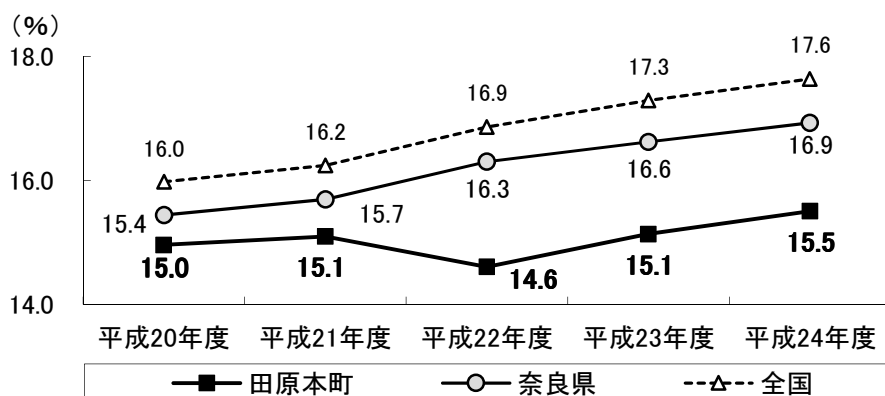
	田原本町	奈良県
肺がん	106.1	104.0
大腸がん	76.4	92.2
肝がん	107.5	101.8
胃がん	118.7	115.8
乳がん	81.2	95.5
子宮がん	92.5	99.2

※標準化死亡比とは、各地域の年齢階級別人口と全国の年齢階級別死亡率から算出された各地域の期待死亡数と実際の死亡数との比をいう。全国を100(基準値)として、標準化死亡比が100より大きい時は死亡状況が全国より悪い、100より小さい時は全国よりよいことを示す。

(8) 要介護認定率の推移

要介護認定率は、増加傾向で推移していますが、奈良県・全国を下回る水準で推移しています。

■ 要介護認定率の推移



(資料:介護保険事業状況報告)

2. 平均寿命・健康寿命

65歳平均余命(平均寿命[※])・65歳平均自立期間(健康寿命[※])については、以下のようになっています。

平成23年の65歳平均余命(平均寿命)は、男性19.61、女性23.63となっており、男女ともに奈良県とほぼ同水準となっています。

平成23年の65歳平均自立期間(健康寿命)は、男性18.22、女性20.54となっており、男女ともに奈良県・全国を上回っている状況です。

■ 65歳平均余命(平均寿命)

区分	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
全国	18.56	23.59	18.60	23.64	18.88	23.97	18.86	23.89	18.69	23.66
奈良県	18.64	23.45	18.81	23.28	19.21	24.05	18.97	23.89	19.41	23.69
田原本町	19.11	23.44	19.36	23.52	19.35	24.14	20.02	24.00	19.61	23.63

■ 65歳平均自立期間(健康寿命)

区分	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
全国	16.95	20.23	16.98	20.25	17.24	20.49	17.20	20.42	17.10	20.30
奈良県	17.07	20.18	17.28	20.09	17.54	20.61	17.46	20.50	17.84	20.47
田原本町	17.71	20.14	17.94	20.23	17.92	20.69	18.40	20.50	18.22	20.54

(資料:奈良県健康福祉部<平成25年9月>)

※平均寿命とは、出生時(0歳)の平均余命。ここでは、65歳からの平均余命をいう。

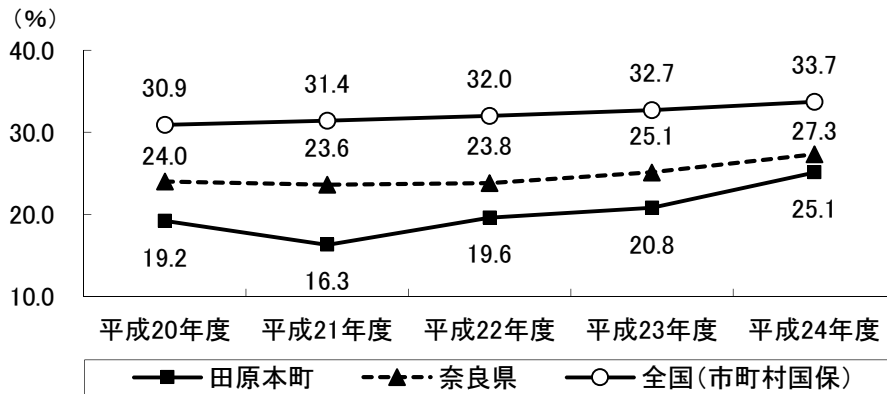
※健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。ここでは、65歳からの自立期間をいう。

3. 各種健（検）診の状況

(1) 特定健康診査受診率の推移

特定健康診査受診率は、増加傾向で推移していますが、奈良県・全国を下回る水準で推移しています。

■ 特定健康診査受診率の推移

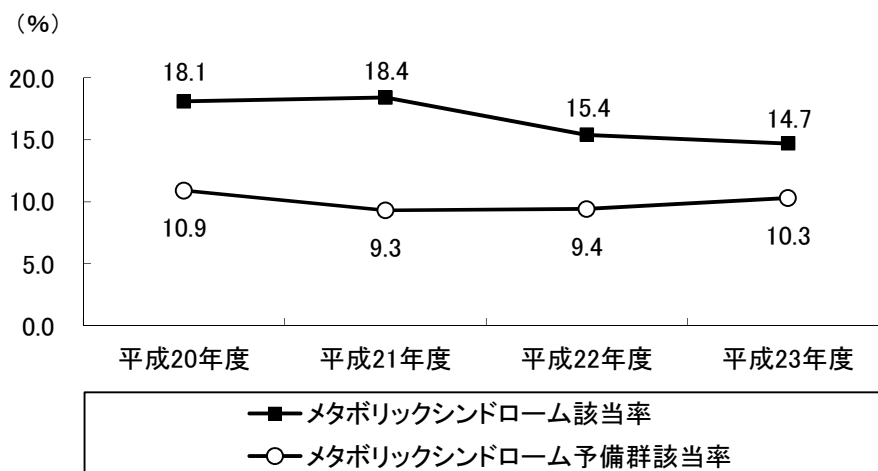


(資料:田原本町は『田原本町国民健康保険特定健康診査等実施計画』(平成25年度)、奈良県・全国は奈良県健康づくり推進課)

(2) メタボリックシンドローム該当者・予備群の該当率の推移

メタボリックシンドローム予備群の該当率は、平成21年度から平成23年度にかけて微増しており、該当者の該当率は減少傾向で推移しています。

■ メタボリックシンドローム該当者・予備群の推移

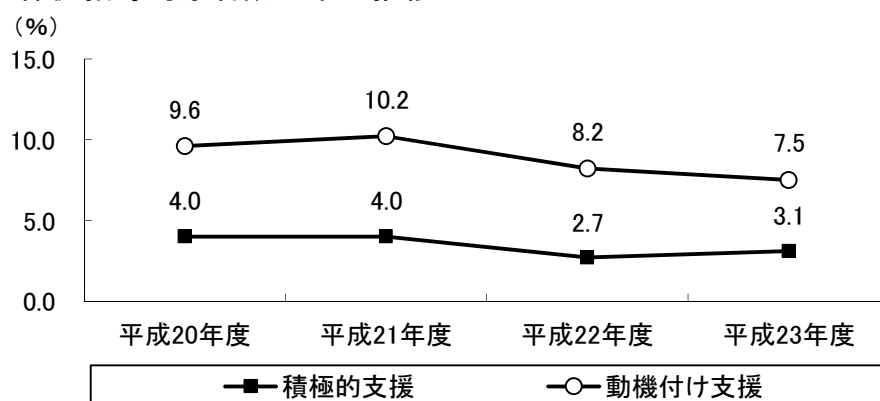


(資料:『田原本町国民健康保険特定健康診査等実施計画』(平成25年度))

(3) 特定保健指導の対象者該当率の推移

特定保健指導*の対象者該当率は、積極的支援については、ほぼ横ばいで推移しており、動機付け支援については、平成21年度から平成23年度にかけて減少傾向で推移しています。

■ 保健指導対象者該当率の推移



(資料:『田原本町国民健康保険特定健康診査等実施計画』(平成25年度))

※特定保健指導とは、特定健康診査の結果から、生活習慣病の発症リスクが高い人に対して、医師や保健師、管理栄養士等が対象者に合わせた生活習慣を見直すためのサポートを行うこと。リスクの程度(以下の表を参考)に応じて、「動機付け支援」と「積極的支援」がある(よりリスクが高い方が「積極的支援」)。

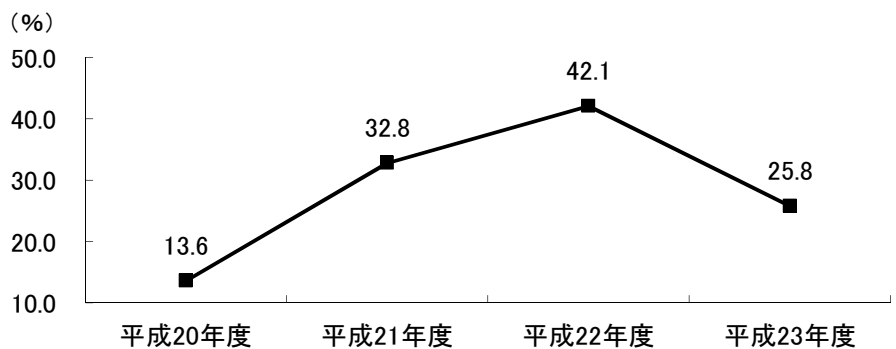
■ 特定保健指導の対象者

腹囲	追加リスク			④喫煙率	対象	
	①血糖	②脂質	③血圧		40-64歳	65-74歳
≥85cm(男性) ≥90cm(女性)	2つ以上該当			あり なし	積極的 支援	動機付け 支援
	1つ該当					
上記以外で BMI≥25	3つ該当			あり なし	積極的 支援	動機付け 支援
	2つ該当					
	1つ該当					

(4) 特定保健指導の終了率の推移

特定保健指導の終了率は、平成20年度から平成22年度にかけて増加傾向で推移していましたが、平成22年度から平成23年度にかけて減少に転じています。

■保健指導終了率の推移



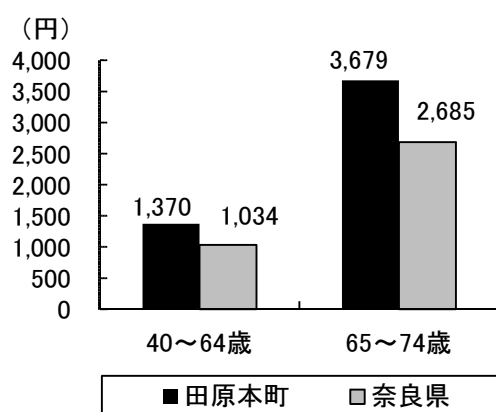
(資料:『田原本町国民健康保険特定健康診査等実施計画』(平成25年度))

(5) 医療費の状況

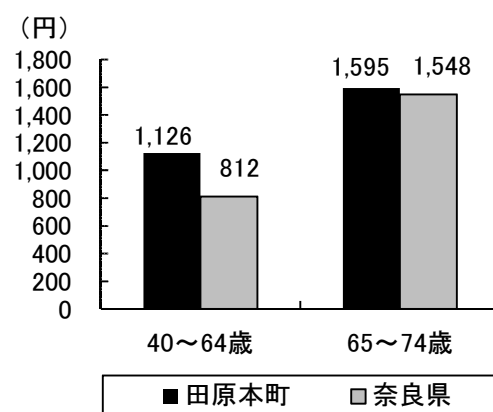
4年平均の国民健康保険被保険者(全員)1人あたり5月診療分外来医療費(調剤費は含まない)は、高血圧・糖尿病ともに奈良県を上回っている状況です。

【平成20～23年平均の国民健康保険被保険者1人あたり5月診療分外来医療費】 (医療を受けていない人を含む)

■高血圧



■糖尿病



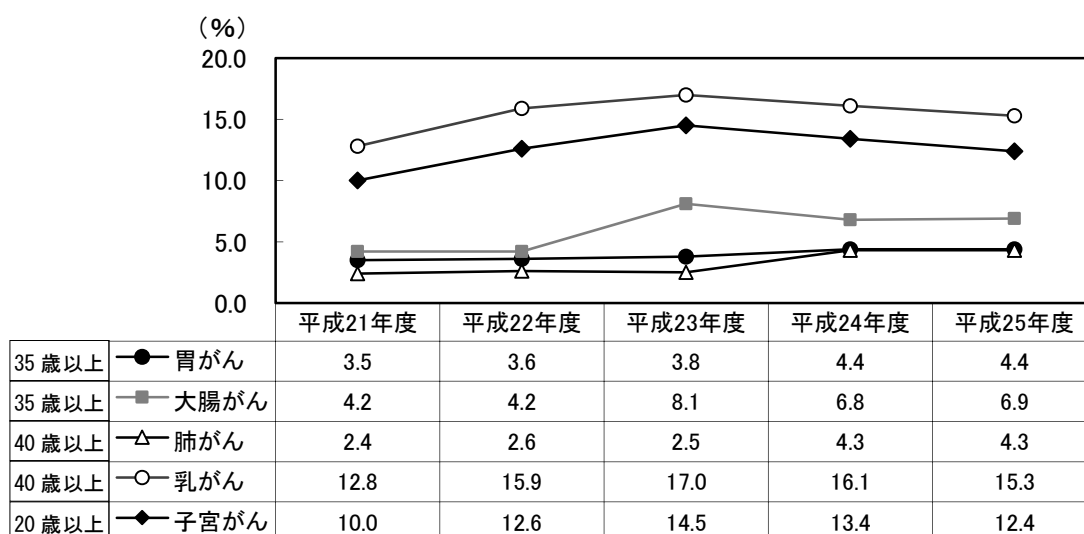
(資料:『田原本町国民健康保険特定健康診査等実施計画』(平成25年度))

(6) 各種がん検診の受診率の推移

各種がん検診の受診率では、乳がん・子宮がんについては、平成21年度から平成23年度にかけて増加傾向で推移しており、大腸がんについては、平成22年度から平成23年度にかけて大きく増加に転じています。これらの背景として、乳がん・子宮がんについては平成21年度から平成25年度にかけて、大腸がんについては平成23年度から無料クーポン券を配布したことが影響していると考えられます。

胃がんについてはほぼ横ばいで推移しており、肺がんについては、平成23年度から平成24年度にかけて増加に転じています。

■各種がん検診受診率の推移



※乳がん、子宮がんについては、2年に1回の受診。(資料:保健衛生の現況(平成25年度))

■がん検診受診率の算出方法(厚生労働省)

$$\frac{\text{その年の受診者数} \times 100}{\text{対象年齢以上の人口} - \text{対象年齢以上の就業者数} + \text{第一次産業従事者}}$$

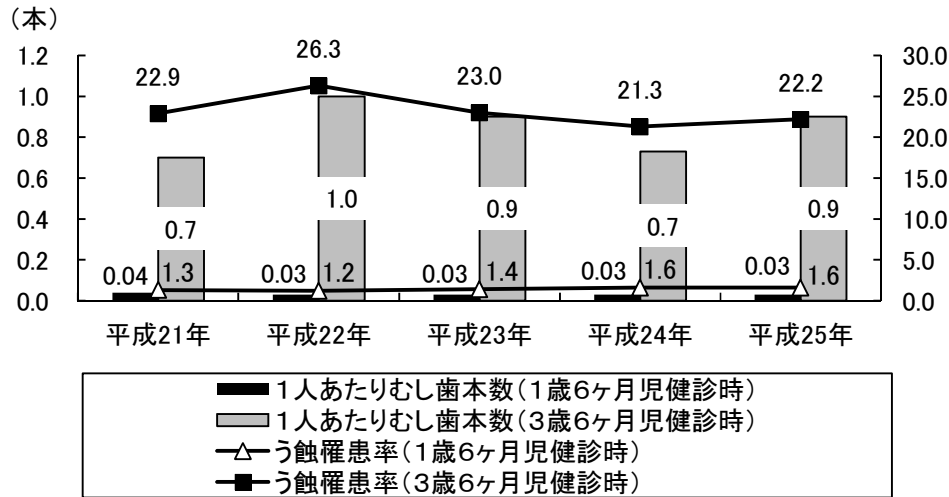
対象年齢以上の人口 - 対象年齢以上の就業者数 + 第一次産業従事者

(※要介護4・5の認定者を除く)

(7) 乳幼児歯科健診の状況

同一対象群の1人あたりむし歯本数・う蝕罹患率は、1歳6ヶ月・3歳6ヶ月児健診時ともに横ばいで推移しています。

■同一対象群の1人あたりむし歯本数・う蝕罹患率の推移(1歳6ヶ月・3歳6ヶ月児健診時)



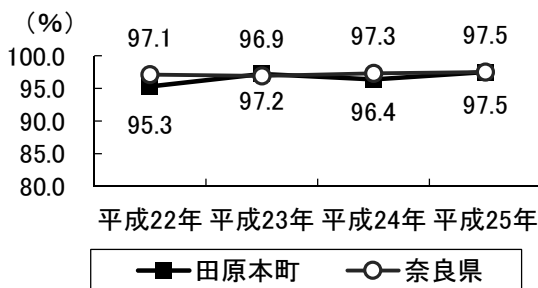
(資料: 保健衛生の現況<平成 25 年度>)

(8) 乳幼児健康診査等受診率の推移

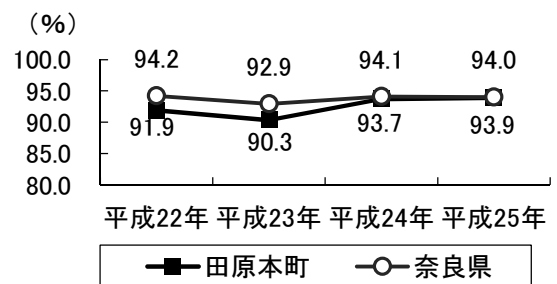
乳幼児健康診査の受診率は、奈良県と同様の水準でほぼ横ばいで推移しています。

未受診者には、勧奨ハガキの送付や電話によって勧奨していますが、常に1割弱の対象者が未受診であり、親の就労等により受診しづらい事情や子どもに対する意識の低さがうかがえます。こういった家庭には、ネグレクト等の児童虐待が疑われる場合が多く、妊娠期から継続した丁寧な関わりが求められます。

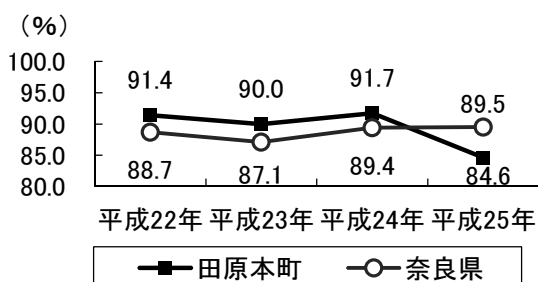
■乳児健康診査(4~5ヶ月児)



■1歳6ヶ月児健診



■3歳6ヶ月児健診



(資料: 田原本町は保健衛生の現況<平成 25 年度> 奈良県は奈良県保健予防課)